

■ 賛助会員 株式会社A.I.Pの「リスクマネジメントニュース」

皆さん、こんにちは。JAPPA賛助会員・株式会社A.I.P 関西営業部長の藤本一成です。
私どもA.I.Pは、中堅・中小企業さまへのリスクマネジメント情報の提供と、30社の保険会社の保険商品を適正にお届けすることを通じて、社会に貢献する総合保険代理店です。では今月の情報提供です。

テーマ『正しい法人保険の考え方とは？』（その6）【満期日統一提案】

前回および前々回は、法人保険を考えるにあたって最も重要とも言える『リスクマップの作成』および『保険管理規程の作成』をご提案しました。今回は『満期日の統一』についてのご提案です。

■ 満期日統一提案

保険はリスクが認識されたタイミングで入る事が重要ですが、財務戦略の一環と考えるのであれば満期日は決算期に統一されているのが理想です。

満期日統一の目的

1. リスクの全体像から最適ポートフォリオを考える
2. リスク年度のリスク環境から優先順位を見直す
3. その年度の財務状況から保険の必要性を見直す
4. 保険料総額をコントロールする
5. 保険に対する重要感を高める。
6. 取締役会等での決議のプロセスを踏む
7. 保険の検討・手続きに要する時間を削減する
8. 年度の利益状況に応じた意思決定を可能にする

満期日を決算期や取締役会の日時に合わせる事で経営計画の中の財務戦略の一環として位置付けたり、取締役会の決議事項とすることで責任の所在や任務懈怠責任を果たす事にも繋がります。

【満期日統一の手順】

① 統一日の決定

適切な保険検討のタイミングに行う

② 新しい保険ポートフォリオの検討

全社視点で保険の最適設計の実施

③ 現在の保険の中途更改を実施

満期日の統一で時間コストを削減

④ 毎年同じ時期に保険更改手続き

保険契約の適切性と効率性を担保

ひとたび満期日を統一してしまうと
「これまでは何て非効率なことをしていたのか、」
「何という危なっかしいことをしていたのか、」
などの実感を持たれると思われます。

しかし満期日統には「一定の労力」と「正しい知識」を必要としますので、是非とも信頼のおける「法人保険に特化したプロ代理店」にご相談のうえ進めてください。

【Webサイト】 A.I.P 正しい法人保険の考え方

<https://aip-houjin-hoken.jp/>では、法人保険のポイントを分かりやすく解説させて頂くとともに「5分で出来る保険現状診断」を提供させて頂いておりますので是非ともお立ち寄り頂きますとともにお気軽にご相談を頂けますことを願っております。



こちらのページでも情報提供をさせて頂いております。

『A.I.Pの情報発信サイト』 <http://aip-info.jp/> 『A.I.P 正しい法人保険の考え方』 <https://aip-houjin-hoken.jp/>